

動物理学リハビリ国際協会 認定プログラム

アドバンスコース

認定プラクティショナー課題レポート



Animal Physical Rehabilitation
International Association

動物理学リハビリ国際協会

<https://apria.jp>

TEL 03(6233)7746 〒162-0042 東京都新宿区早稲田町83-3 SOビル2F



動物理学リハビリ国際協会 アドバンスコース

記載日 年 月 日

氏名	ふりがな	※ご連絡可能な電話番号をご記入下さい。
		— —
住所	<input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> - <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> ※マンション/アパート名(建物名)は必ずご記入ください。	
mail	※協会からの情報等の受信可能なメールアドレスを記入ください。	
アドバンスコース最終受講日 年 月 日		

【レポート提出の諸注意】

- 提出メールに不備が合った場合は課題の採点を致しかねますので、かならず件名・本文・ファイル形式等に間違いがない事をご確認の上送信ください。
- 課題提出後5日以内(土日祝除く)に課題受信確認の返信メールがない場合は、メールに不備等があった可能性があります。内容を再度ご確認の上ホームページ内の「お問合せフォーム」よりご連絡下さい。また、迷惑メールの設定によっては APRIA からのメールが届かない可能性があります。メールが受信できるようにドメイン指定受信で「@apria.jp」を許可するように設定してください。
- 課題提出に関するご質問は、ホームページ内の「お問合せフォーム」より具体的にご連絡お願い致します。提出先メールにてご質問をお送りされてもお答え致しかねます。

提出先 : support@apria.jp
件名 : プラクティショナー課題提出
本文 : 名前・最終受講日
提出ファイル形式 : PDFファイル、または Office Wordファイル
本文記載のものにこの用紙を添付してください。
提出期限 : アドバンスコース受講後1ヶ月

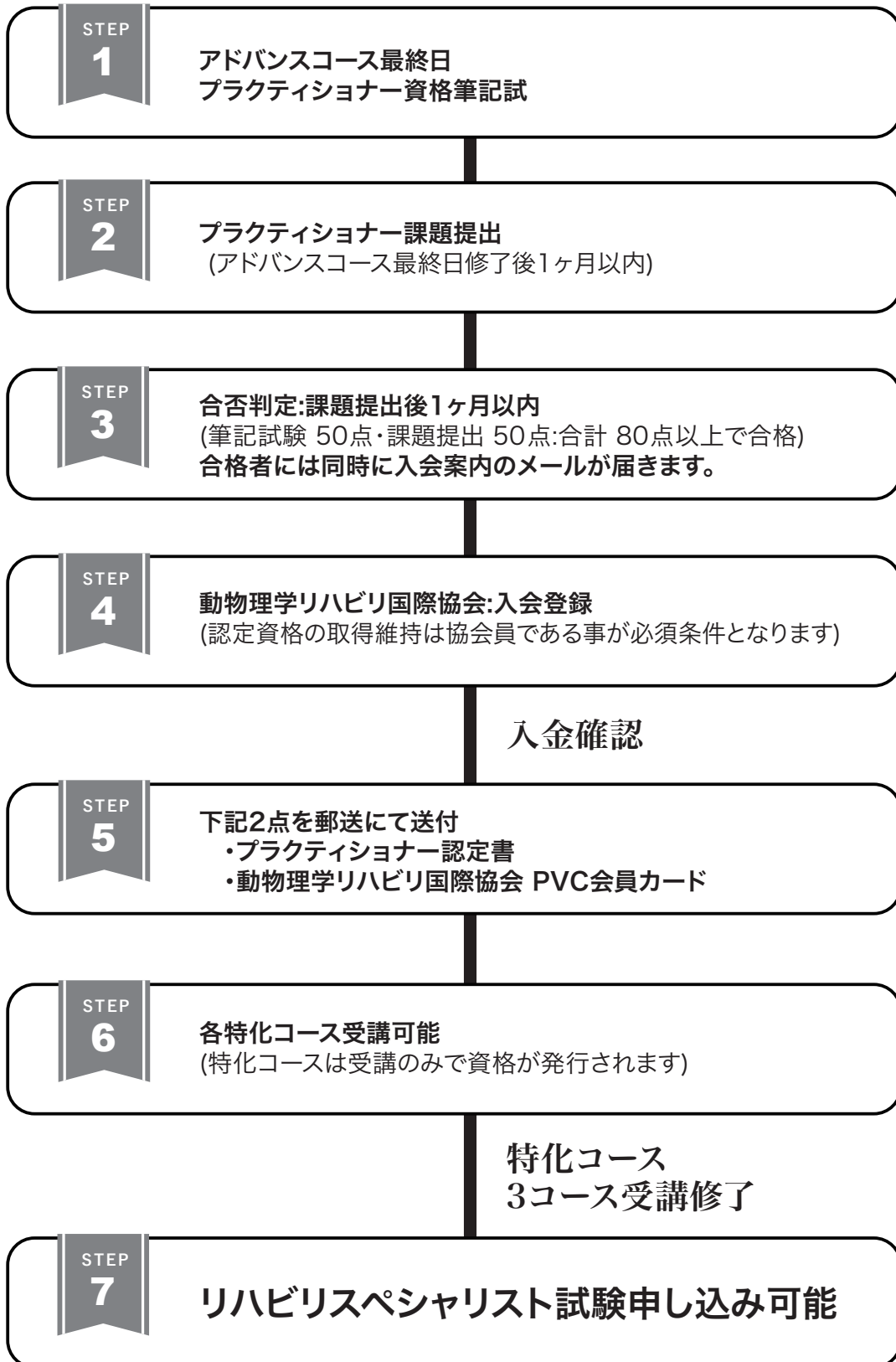
課題提出後1ヶ月以内に課題を提出されたメールアドレス宛に合否判定をご連絡致します。

合格基準:筆記試験 50点+課題提出 50点=合計 100点

合計 80点以上を合格・79点以下を不合格とする

合格者には合格通知メールと同時に今後の流れについてのご連絡を差し上げます。

////////////////////// **アドバンスコース修了後の流れ** ////////////////////////



課題



下記の症例についてあなたの考えるリハビリテーションプログラムを作成してください。(20点)

症例 A

- 名前:リオル(仮名) ●犬種:トイプードル ●年齢:4歳齢 ●性別:避妊雌
- 既往歴:生後10ヶ月齢で右大腿骨頭壊死症と診断→大腿骨頭(骨頸部)切除術実施
その後リハビリ等は一切なし
- 現状:右後肢跛行G4(常歩時) 右後肢重度筋委縮
- 飼い主の要望:手術をしてからずっと跛行していたが、徐々に足を使わなくなって
肢を上げる事が多くなった。足を使って歩くようになって欲しい。
- 評価:術前より患肢を使用しなかったことによる右後肢の重度の筋委縮
右腸腰筋の拘縮による股関節伸展可動域制限
重心位置が左前方への移動によるふらつき
右後肢の挙上に伴う支持基底面の縮小

特記事項:

上記の内容以外に関しては自身で考えて良いものとし、行う全てのリハビリプログラムに関して獣医師からの許可が下りているものと仮定し、プログラムを作成してください。(可能な限り具体的に作成してください。)



課題



下記の症例についてあなたがリハビリテーションを行うにあたって、行ってはいけないプログラム、または注意すべき点を可能な限り記入してください。(20点)

症例 B

- 名前:シェイミ(仮名) ●犬種:チワワ ●年齢:16歳齢 ●性別:未避妊雌
- 既往歴:僧帽弁閉鎖不全症(ステージ A)(13歳時に診断) 運動不耐性なし
- 現状:高所からの落下による右大腿骨骨折
(手術した次の日からリハビリを依頼された)

特記事項:

上記記載の内容以外は自身で考えて良いものとし、モダリティの禁忌も含め、本症例に対し、行ってはいけないプログラム、実施する際に注意すべき項目を、理由も明記して思いつく限り記入してください。



